

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 4月 15日

事業所名

きらめき北谷

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	0	屋外スペースや公園活動を取り入れ工夫している	個別指導室があるともっと良いと思うあと一部屋欲しい
	2	職員の配置数は適切である	2	5		人手不足を感じる日がある日によって手薄になる日もある
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7	0	視覚支援などを取り入れている	施設不備による事故や怪我などは今までない為、今後も適切な配慮を心がけていく
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7	0	毎朝職員全員で環境整備を行なう様にしている	今後も日々の掃除片付けを継続していく
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7	0	毎日、活動の振り返りを行なっている	事業所内会議でも売り上げ目標や実績の報告を行なっていきたい
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	0	評価内容をスタッフで共有し、業務改善に努めている	毎年保護者向け評価を継続し、ご意見を業務改善に繋げる
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7	0	毎年実施し、HPで公表している	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	3		第三者からの外部評価は現状行えていない
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	0		ティーチャーズトレーニング・性教育研修などを実施予定
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	1		ニーズには対応しているが客観的な分析は不足している
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	2		今後使いやすいアセスメントシートを作成する予定
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	1		必要な項目が適切に判断されているか判断が難しい
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7	0	計画書に書かれた目標に沿う形で支援を行う様にしている	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	0	週担当制で立案を行なっている	活動準備がギリギリになることがあるので、時間の確保が課題
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	0	固定化しないように工夫して行っている	更に子供たちに効果的で飽きない活動を提案していく
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	7	0		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	0	療育前の準備時間を十分に取れるようにしている	午後の活動に関しては打ち合わせが定着している 午前中に関しては出来るときと出来ない時がある
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7	0	時間を確保し支援の振り返りを行なう様になっている	午後の活動に関しては打ち合わせが定着している 午前中に関しては出来るときと出来ない時がある
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	0		その日で記録が終わらない事もあるので、翌日にはしっかりと記録を残す様になっている
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7	0	支援会議でモニタリングを行なっている	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7	0	療育担当職員が出来るだけ会議に入る様にしている	日程によっては参加出来ない時もある為余裕のある人員配置を行ない参加出来る様に努める
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	2		関係機関との連携はもう少し増やしていきたい 今後、ペアレントプログラム研修で連携を計画している
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	1	6		該当児利用なし 医療的ケアを必要としていない
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	6		該当児利用なし 医療的ケアを必要としていない
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	1	情報が出来るよう(紙面で残す)工夫はしている モニタリング会議にて行なっている	必要に応じてやっている児童と全くやっていない児童がいる
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	2	行なえる範囲で実施している モニタリング会議にて行なっている	小学校には特別入りづらさを感じる
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	1	行なえる範囲で実施している	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	7		現状機会はないが設けていきたい 検討したいがコロナ禍の難しさあり
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	7	0	管理者参加 管理者が中心に役割を担っている	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	LINEで様子を配信 送迎時細かなやり取り実施	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	7	0	参加するようアナウンスしている	読谷村にて実施、今後も継続予定	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7	0	利用開始前に行なっている		
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7	0	契約時に行なっている		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	0	日々の療育の中や、モニタリング会議で聞き取る様にしている	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	5	親子参加型イベント企画して参加を促している	父母の会を支持する機会は少ない、会がない
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	相談員、他機関と連携を密に行うようにしている	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1	ブログで活動の内容を配信している	ブログの周知を行なう
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7	0		鍵付きキャビネットで保管しているが時々鍵の施錠忘れがある
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	LINEを活用して情報を発信している	活動内容の報告が出来ない時もある為できるだけ時間を取るようにする
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	4		地域との交流は少ない
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	0	年に3回実施している	利用児童全員の保護者に周知する事が出来ていないため今後改善が必要
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	0	年間スケジュールを確定し行っている	利用児童全員の保護者に周知する事が出来ていないため今後改善が必要
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	1	アセスメントシートで確認	支援会議にて情報共有を徹底する
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	2	食事提供無し	医師の指示書に基づいてない
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	0		ヒヤリハット発生時にすぐ事業所内で情報共有をするようにしている
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	職員研修で毎年行っている	時間の確保が課題
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6	1		該当児なし

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。